

V 調布市立上布田保育園

第1 総括

平成30年4月から保育所保育指針が改正されることとなり、本年度はそれに伴う研修が多く開催された。近年の「待機児童問題」を受け、調布市においても保育園の増設が急激になされ、保育園に通う子どもの数も急増している。今回の改正において、0・1・2歳の保育に関わる内容を特に充実させること、保育園・幼稚園・認定こども園の保育・教育を「幼児教育として共通に捉える」ということを大きなねらいとし、改正が進められた。新保育所保育指針への理解を深め、自分たちの行っている保育との摺り合わせをしていくため、外部の様々な研修に参加したり、園内研修、乳児会や幼児会での勉強会を行った。今後も子どもたちの最善の利益を追求していくこと、保育の質を高めていくことに努める。

また、保護者支援においても保護者との相互理解、保育活動への保護者の参加促進等がポイントとして挙げられている。我が園で取り組んでいる保育士体験は、本年度の参加者は延べ86人、家庭数での参加率は昨年度の50%より20ポイント上回り、70%の参加があった。本年度も保育士体験を通してたくさんの保護者とのコミュニケーションを取ること、子どもたちの日々の育ちを一緒に喜び合える経験が積めたことが信頼関係を築くことへと繋がった。

第三者評価でのアンケートにおいても保育園に対する総合評価が「満足・大変満足」が98.1%を占め、保育園への理解が深まっていることが分かる。今後も積極的に保護者との信頼関係を深め、保護者と保育士が手を取り合っ子どもたちの育ちをサポートする姿勢を持っていく。

1 子どもが安心して過ごせる場

子どもたちにとって居心地のいい場所とは何かということを職員全員で常に考え、工夫してきた。子どもだけでなく保護者にとっての居心地のよさも追求し、まずは信頼を一日でも早く得ることに努めてきた。保護者には「保育園と共に子育てをしていきましょう」という姿勢を示し、子育ての楽しさや大変さも共有し、それを積み重ねることで信頼関係を築いていった。

また、小さなケガでも見過ごすことなく再発防止に努め、「事故連絡ノート」による職員間での情報交換、事故についての記録・分析を行った。毎月の園庭整備では危険箇所をチェックし、大型遊具の点検、修繕にも取り組んだ。

2 子どもによる自主的・自発的な活動への取組

子どもが主体的に遊びこめるようなコーナー作りをし、子どもの発達に見合った遊びが提供できるように心掛けた。幼児クラスでは廃材遊びに力を入れ、自分の思うように作品を作ったり、作ったもので遊ぶ中で友だちとの関わりも深まった。行事では話し合いや準備を通して自分たちで参画する楽しさを味わい、人を

喜ばせたり、人から認められる経験を積み上げていった。

3 様々な経験を通しての子どもたちの成長・発達にあった保育

太鼓、ダンス、お茶指導、図書館、児童館への散歩など、外部の講師との交流や新しいことに挑戦する体験をした。楽しいことや嬉しいことだけでなく、うまくいかないことや乗り越えなくてはならないことも経験し、各年齢ごとに必要な力を身につけていった。

4 縦割り保育の中での成長・発達

1年を通して、同じグループの異年齢児と交流し、助け合ったり、時にはトラブルになったりしながらも異年齢ならではの経験をしていくことができた。小さい子は大きい子に憧れ、次年度に繋がる見通しを持つことができ、大きい子は頼りにされることで自尊心を育てられたと手応えを感じられた。

また、乳児と幼児との交流も密に行い、園全体が兄弟のような雰囲気に包まれた一年であった。

5 保護者の子育て支援

日々の保育や行事、保育参観や保育士体験を通して、子育ての楽しさや喜びを共有することをコツコツと積み上げ、保護者と保育士が肩を並べて子育てしていく姿勢を常に持つように心掛けた。研修を重ねる中で保育士の思いも同じ方向へと向き、園一丸となって取り組めたと感じられた。

第2 経営実績

1 定員

(単位：人)

| | 0歳児 | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 計 |
|----|-----|-----|-----|-------|-----|-------|----|
| 定員 | 6 | 10 | 12 | 18 | 22 | 22 | 90 |
| 実数 | 8 | 12 | 14 | 22(1) | 23 | 19(1) | 98 |

※()内は、障がい児の受入れ数

2 利用率

(単位：%)

| 事業名 | 平成29年度 実績 | 平成28年度 実績 |
|--------|--------------|--------------|
| 上布田保育園 | 108.7 | 108.7 |

第3 事業報告

1 重点事項への取組

(1) 施設・設備の点検

毎月の園庭整備において遊具の破損、危険箇所などの点検を行い、修繕が必要なところは速やかに修繕に取り組んだ。

園庭の大型遊具においては専門業者に点検を依頼し、痛んだ部品の交換と全

体のメンテナンス、塗装を行った。乳児も幼児も安心して安全に遊べる環境が整った。

また、建物に設置されている加湿機能においては、故障により遊戯室の天井から水漏れを起こした。市の保育課に対応してもらい、水漏れは収まったが根本的な修繕には至らず、引き続き今後の修繕について市と話し合いを進めている。

(2) 事故報告や事故連絡ノートの活用

受診をするようなケガの場合は事故報告書を作成し、原因究明や環境の整備を速やかに行い、会議にて職員に周知し、再発防止に努めた。日々の保育の中での小さなケガについても事故連絡ノートに記録し、その情報を共有した。

1年間の事故連絡ノートの内容を集計し、起りやすい時期や時間、場所などを分析し、今後の対策について職員会議で話し合いを持った。注意すべき時間や時期などが共通認識でき、事故防止の意識も高まった。

(3) 防災・防犯対策

近隣の保育園での不審者侵入の事件を受け、セキュリティ強化のため送迎時に「上布田パス」を首から下げてもらう制度を取り入れ、不審者侵入防止に努めた。パスをつけていない人への声掛けなど保護者の協力体制も整い、子どもたちの安全を守る意識が職員、保護者共に高まった。

避難訓練においては、それぞれの職員の役割を見直しながら取り組んだ。1年を終えて、非常時にも速やかな判断と行動ができるようになりたいという職員の反省があり、今後の訓練に繋げていく。

(4) 衛生管理の徹底

歯科検診を年2回、歯みがき指導を年2回、乳児健診を毎月、全体健診を年2回行い、子どもたちの健康状態を把握し、健やかな成長をサポートした。

また、職員に対して手洗い指導や嘔吐処理研修を行い、子どもたちの健康を職員全員で守っていく姿勢を持って取り組んだ。感染症の流行の兆しが見えた場合には、園内の消毒を徹底するなど意識を高く持ち取り組むことができた。

(5) 食を大切に作る保育の推進

毎日の保育の中で食育ボードを活用し、子どもたちの体がどんな食事からできているのか、保育士と子どもと一緒に考え、食事の大切さを学んだ。

また、アレルギーを持つ子どものメニューについて、アレルギー会議を開き、どの子ども同じものが食べられるメニューについて考える機会を持った。これは今後も継続し、推し進めていく。

(6) 職員の質の向上

園内研修を年5回行い、その中で職員一人ひとりが実践レポートを書くことで自己評価も行えた。グループトークで自分を表現する力もつけ、そのことが

保護者とのコミュニケーションにも生かされている。

また、対外的な研修にも数多く参加することができ、新保育所保育指針に対する知識も得ることができた。

(7) 活気ある保育となるための取組

職員が日々健康的に仕事していけるように、毎日の朝礼において腰痛改善運動を取り入れた。腰に負担の掛かる仕事に向き合っていくことができ、今後も続けてほしいとの声も聞かれた。

また、休憩時間の確保が難しい業務の中で、職員が協力し合って休憩時間を確保していけるように「リラックスタイム」のボードを設置した。休憩が取れていない職員がすぐに確認できるようになり、お互いを思いやりながら仕事を進めていくことができた。

(8) 世代間交流

本年度も年長児19人が調布八雲苑に月1回訪問し、歌の発表をしたり、ふれあい遊びやカード遊び、折り紙等の製作遊びなど、日ごろ保育園で行い親しんできた遊びを、利用者の方々と共に楽しんだ。また、恒例行事である「おじいちゃんおばあちゃんと一緒に遊ぼう会」では、毎年多くの方に参加して頂いており、本年度も園児の祖父母51人を招き、手遊びや昔遊びを楽しみ、会食を行った。

この他、地域との交流も兼ね、毎年参加している「調布ヶ丘敬老わくわく広場」では、4歳児がダンスを、5歳児が太鼓の披露を行った。

(9) 障がい児保育

本年度は支援を必要とする障がい児は2人であった。また、子ども発達センターから保育園体験児を2人受け入れ、交流保育を行った。

ア 生活、活動の中での様子、検討したいことなどを個人記録としてまとめ、作業療法士に目を通してもらい、月1回の来園時にその記録を基に子どもの様子を観察してもらった。

その日の午後のケース会議にて専門的な視点で子どもへの支援方法、指導の仕方等のアドバイスをもらい、日々の保育に活かした。

イ 保護者からの要望や希望があるときは、職員を通して作業療法士への相談等も受け、子どもにとって最善の支援を一緒に考えていくようにした。

ウ 必要に応じて、関係する療育機関と連絡を取り、お互いの状況を把握する中で、日々の保育、療育に活かせるようにした。

障がい児の状況

(単位：人)

| 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 |
|-----|-------|-------|
| 1 | 0 (1) | 1 (1) |

* ()は保育園体験児

(10) 地域の子育て支援

ア 保育園体験

地域の親子を対象に0歳児、1歳児、2歳児クラスに各5組ずつ受け入れ、月1回在園児と一緒に活動に参加する「保育園体験」を行い、園児、担任との交流を持った。

また、誕生会にも参加し、園児と同じように誕生日カード、かんむりを渡し、誕生日を園児・職員皆でお祝いした。

月1回、定期的に活動に参加することで、園児との繋がりが築けるとともに、参加者同士の関係づくりもできた。また園児との交流の中で、子育ての見通しが持てるようになった。担任と話す機会を多くとることで、日ごろの育児の悩みなど、気軽に相談できるような関係づくりができた。

育児休業中を利用しての参加者も多く、次年度の入園申し込みにつながるケースも多くみられた。

保育園体験の状況

(単位：組)

| 保育園体験 | 参加者 | 誕生会 | 参加者 |
|--------|-----|--------|-----|
| 5月17日 | 10 | 5月18日 | 1 |
| 6月21日 | 7 | 6月15日 | 2 |
| 7月26日 | 5 | 7月13日 | 1 |
| 8月30日 | 6 | 8月24日 | 2 |
| 9月27日 | 8 | 9月14日 | 0 |
| 10月25日 | 7 | 10月19日 | 0 |
| 11月29日 | 7 | 11月16日 | 1 |
| 12月13日 | 9 | 12月7日 | 0 |
| 1月26日 | 中止 | 1月18日 | 2 |
| 2月21日 | 11 | 2月15日 | 2 |
| 3月14日 | 8 | 3月8日 | 0 |
| 延べ人数 | 78 | 延べ人数 | 11 |

※ 感染症の流行が見られる場合は中止とした。

イ 給食体験

(ア) 離乳食体験

初めての離乳食を始める地域の子育て中の親を対象に、栄養士、保育士による離乳食の開始時期の目安、初期食、中期食の進め方、実際の調理方法などを学んでもらった。2回を1セットとして募集をし、1回目の講習は離乳食を始める前、2回目の講習は実際に離乳食を始めてから受けても

らう形をとった。分からないことや困っていることを聞きながら理解を深められ、中期食へと移行していくという形式が好評で、十分な支援ができたという手ごたえを感じた。

離乳食体験の状況

(単位：組)

| 実施日 | 参加者 |
|-------|-----|
| 9月29日 | 4 |
| 12月1日 | 4 |

(イ) 乳児食体験

地域の乳児とその親を対象に、給食を園児と同じ環境で一緒に食べる機会を設けた。

乳児食の味つけや量を体験したり、その他、お便りを通して環境設定や食具についても情報提供した。

乳児食体験の状況

(単位：組)

| 実施日 | 参加者 |
|--------|-----|
| 6月8日 | 0 |
| 6月29日 | 3 |
| 10月12日 | 0 |
| 10月27日 | 3 |
| 2月1日 | 中止 |
| 2月8日 | 中止 |

(ウ) 保育講座

毎年恒例となった科学遊びやミニ音楽会、親子ヨガなどは参加者数も安定していた。ミニ音楽会は子どもたちの知っている曲を演奏し、子どもたちも喜び、とても盛り上がった。

今後は親子で楽しめる講座を中心に、内容を検討していく。

保育講座の開催状況

(単位：人)

| 月 日 | 講 座 名 | 参加人数 |
|-------|------------|------|
| 5月20日 | 親子で楽しむ科学遊び | 32 |
| 6月17日 | ミニ音楽会 | 11 |
| 9月16日 | 誕生学 | 58 |

| | | |
|--------|--------------------|----|
| 10月21日 | ベビーマッサージ | 14 |
| 11月18日 | 親子ヨガ | 26 |
| 1月27日 | 講演会「心を育む絵本」(兼職員研修) | 8 |

2 実績報告

(1) 園児の受入状況

月別の園児受け入れ状況は次のとおりである。

(単位：人)

| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 合計 |
|-----|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 受託児 | 5歳児 | 19 | 19 | 19 | 19 | 19 | 19 | 19 | 19 | 19 | 19 | 19 | 228 |
| | 4歳児 | 23 | 23 | 23 | 23 | 23 | 23 | 23 | 23 | 23 | 23 | 23 | 276 |
| | 3歳児 | 21 | 21 | 20 | 22 | 22 | 22 | 22 | 22 | 22 | 22 | 22 | 260 |
| | 2歳児 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 168 |
| | 1歳児 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 144 |
| | 0歳児 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 96 |
| | 計 | 97 | 97 | 96 | 98 | 98 | 98 | 98 | 98 | 98 | 98 | 98 | 98 |

(2) 園児の健康報告

ア 感染症

1月下旬から2月中旬にかけて幼児クラスを中心にインフルエンザB型が流行した。インフルエンザの予防接種が接種時期に不足していたり、熱の出方がゆるやかで、早期探知が難しいケースが多かった。

1年を通し、胃腸炎やその他の感染症の流行はなく、健康的に過ごせた年であった。

感染症発症状況

(単位：人)

| | | | |
|----------|----|------------|----|
| アタマジラミ | 10 | アデノウイルス感染症 | 4 |
| 溶連菌感染症 | 5 | 突発性発疹 | 8 |
| ヘルパンギーナ | 1 | 伝染性膿痂疹 | 2 |
| 手足口病 | 9 | 胃腸炎 | 18 |
| 流行性耳下腺炎 | 1 | 伝染性紅斑 | 1 |
| インフルエンザA | 3 | インフルエンザB | 37 |

イ 受診状況

1 回の受診で済むケースがほとんどだった。日々の怪我記録簿を活用し、ヒヤリハットケースを職員間で周知し、同様の怪我が発生しないように安全対策を講じてきた。

受診ケース

| 月 日 | 年齢・性別 | 項目 | 受診先 |
|--------|-------|--------|--------|
| 6月19日 | 4歳児男児 | 右額打撲 | 脳外科受診 |
| 10月12日 | 2歳児女児 | 右眼打撲 | 眼科受診 |
| 2月 1日 | 2歳児女児 | 口唇打撲 | 歯科受診 |
| 2月23日 | 4歳児男児 | 左眼打撲 | 眼科受診 |
| 2月27日 | 4歳児男児 | 左手親指打撲 | 整形外科受診 |

ウ その他

| 検査名 | 時期 | 人数 | 結果 |
|-------|-----|------------------------|--------|
| 尿検査 | 6月 | 67人 | 3人陽性 |
| 歯科健診 | 5月 | 94人 | 虫歯あり4人 |
| 歯磨き指導 | 6月 | 受けた園児 55人 受けた職員 13人 | |
| 歯科健診 | 11月 | 94人 | 虫歯あり5人 |
| 歯磨き指導 | 11月 | 受けた園児 74人 受けた職員 14人 | |

(3) 年間行事報告

1年間に実施した行事は、次のとおりである。

| 月日 | 項目 | 内容 |
|-------|--------------------|--|
| 4月1日 | 入園進級式 (保護者を兼ねる) | 本年度は残念ながら雨天のため、ホールでの開催となった。広いスペースでの開催はかなわなかったが、園児・保護者と職員の距離が近く、アットホームな雰囲気の中での会となった。会終盤になって雨が弱まってきたので、予定通り5歳児のダンスも、場所をテラスに変えて、無事披露することができた。 |
| 5月13日 | ふれあい遠足 | 入園式に引き続き、ふれあい遠足も雨天での開催となり、保育園の園舎を使って行うことになった。親子で一緒に色々な遊びを楽しみながら、色々な園児・保護者・職員と関わり合い交流を持てるようにした。各部屋に手作り工作やゲーム、巧技台など |

| 月日 | 項目 | 内容 |
|---------------|-----------------------|---|
| | | を使った運動遊び、シャボン玉等のコーナーを設置して、室内ならではのゆったりした雰囲気の中で遊びを楽しんでいただくことができた。コーナー遊びの後は、園内の各部屋でお弁当を食べ、終了となった。 |
| 5月10日～ 18日 | クラス懇談会 | 進級・入園から2か月を経てのクラスの様子を伝え、保護者との意見の交換を行った。より多くの保護者に参加してもらえるよう、全クラス夕方時間に設定し、行った。 |
| 6月22日 | プール開き | 天候にも恵まれ、予定通り行うことができた。入水前に水神様にお神酒をささげ、この夏のプール遊びの安全を皆でお願いし、乳児クラスは水遊びを、幼児クラスは縦割りグループ対抗のゲーム遊びをプールで行った。 |
| 7月15日 | 夏祭り | 汗ばむほどの晴天で絶好の夏祭り日和であった。恒例となった職員によるオープニングは、担当職員を中心に職員一同で踊りながらお店紹介を行った。楽しい雰囲気の中、大盛況の中での開会となった。その後、5歳児の手作りゲーム屋、職員のゲーム屋、手作り玩具の店を、おもちゃの財布とお金を持ってまわり楽しんだ。父母会との共催ということで父母の店「かき氷屋」も、暑い中での開催となったこともあり大好評であった。盛り上がり、皆が存分に楽しめた夏祭りとなった。 |
| 7月28日～ 29日 | お泊り保育 | 5歳児19人がお泊まり保育を行った。今年度は1週間前より子どもたちに対して、イベントの仕掛けがしており、わくわくする気持ちを持ちながら子どもたちは当日を迎えられた。初めて親元を離れ一晩を過ごす子も何人かおり、始めは緊張した様子も見られたりしたが、夕飯のちゃんぽんうどん作りやスイカ割り、みんなで協力しておぼけ大将をやっつけるゲーム、花火大会を行い、友達や職員たくさんの思い出作りをした。 子どもたちは翌朝のお迎えに来た保護者を見つけると、うれしそうに飛びつき、矢継ぎ早に経験したことを話す姿がとても印象的だった。 |
| 9月15日 | おじいちゃん、おばあちゃんと一緒に遊ぼう会 | 園児の祖父母51人の参加で、過去最高の申し込みであった。始めに全体でふれあい遊びを行った。その後、各コーナー遊びに分かれて、祖父母と昔ながらの伝承遊びを楽しんだ。 その後、年長児が「和太鼓」の演奏を行い、昼は園児との会食、美味しいと好評であった。帰りには5歳児の作った折り紙の花をプレゼントした。 |
| 10月8日 | 運動会 | 雨で延期となり、1日遅れでの開催となったが、父母の参加も多く父母競技にもたくさんの参加があり、大人も子どももみんなが楽しめる会となった。それぞれの年齢の発達や4月からの積み重ねが披露され、大きく成長した喜びを分かち合い、多くの感動を子どもたちからもらうことができた。 運動会の中で、年下の子と5歳児が関わりを持つ場面があり、縦割り保育の良さが競技の中でも垣間見られ、とても微笑ましかった。 |

| 月日 | 項目 | 内容 |
|------------------|----------------|---|
| 10月27日 | 秋の園外保育 | (乳児) 園庭にて、いも掘りごっこを楽しんだ後、楽しみにしていた弁当を食べた。 (幼児) 片道40分ほど歩いた所にある越山農園へ行き、いも掘りを楽しんだ。園に帰ってから園庭でお弁当を食べた。 |
| 11月2日 | いも煮会 | いも掘りで収穫したサツマイモや野菜などをちぎって使ったり、包丁を使ってニンジンを切ったり、子どもたちが調理に参加し、青空の下、園庭で会食した。おかわりする子が多かった。 |
| 11月1日～ 11月30日 | 全クラス個人面談 | 午睡(13時～15時)の時間を利用し、保育園の様子や家庭での様子についてお互いの情報交換をした。11月は保育士体験月間も兼ねているため、本年度は個人面談期間を1か月に延長し、保育士体験してもらい、より保育園のことを知ってもらった上で面談を行うことができ、有意義な時間になった。 |
| 12月2日 | 親子で一緒に楽しむ会 | なかなか参観できない保護者のために“大きな保育参観日”として毎年開催している。それぞれのクラスで親子がともに楽しめる企画も盛り込み、1年の成長を味わいながら楽しい一日を過ごした。 |
| 12月8日 | もちつき | 新しい年を迎える前に餅をつくことの意味を知り、餅つきを体験した。子ども用の杵を使い、自分たちでつく楽しさを味わった。今年度は、つき手の有志を5歳児の保護者から募り、3名が「もちレンジャー」に扮し、会を盛り上げてくれた。 |
| 12月22日 | クリスマス会 | ホールにて全園児が集まり、クリスマスの雰囲気を楽しみながら、職員による楽器演奏やオペレッタを楽しんだ。そこへサンタクロースが登場し、各クラスへ玩具のプレゼントを渡し、その後、記念写真を撮った。玩具は“サンタさんからの贈り物”として各クラスの遊びで大いに活躍している。 |
| 1月10日 | 新年会 | 昔から行われてきた伝承遊びやお節料理の意味など、新年についての日本の伝統を子ども達に伝えた。その後、園庭や室内でたこあげ、羽根つき、独楽回し、カルタ、福笑いなどの正月ならではの遊びをみんなで楽しんだ。 |
| 1月26日 | 観劇 劇団「たんぽぽ」 | 父母会共催の行事で、0歳児から参加した。地域の方も加わり、劇団「たんぽぽ」の本格的な人形劇を楽しんだ。 |
| 1月27日 | 全体保護者会 | 昨年と同様に園長の挨拶の後、各クラスの担任から今年度の成果や、次年度へ繋げていくことなどを話した。また、保健からは発熱時の対応や感染症について、給食からは毎日の献立やアレルギー食材について話をした。 本年度も子どもの育ちを一本の木に例え、0歳児から順につけていく力を話し、最後に花を咲かせるまでを系統だてて説明した。分かりやすいと好評だった。また、保護者から一言ずつ感想を述べてもらったところ、どの保護者も園への感謝の言葉が続き、職員も励まされた。 |
| 2月6日～ 14日 | クラス懇談会 | 5月と同様に全クラス夕方時間に設定し、1年の成長や進級、就学に向けての話を中心に情報交換を行った。 |

| 月日 | 項目 | 内容 |
|-------|--------|--|
| 3月3日 | お別れ遠足 | (乳児) 0, 1歳児は園庭でゲーム遊びなどを楽しみ、2歳児は野川にお散歩に行き、その後、園内でお弁当を食べた。 (幼児) バスを貸し切り井ノ頭自然文化園へ行った。たて割りグループで館内を見学し、モルモットに触れたり、リス園や柵越しに間近かで動物を見て楽しんだ。その後お弁当を食べ、楽しい思い出を作ることができた。 |
| 3月17日 | 就学を祝う会 | 就学児、在園児(3,4歳児)、職員みんなで会を創り上げ、保護者とともに就学する喜びを分かち合うことができ、和やかな会となった。就学児は自信に満ち溢れ、在園児は憧れの眼差しで就学をお祝いし、子どもたちそれぞれが成長できるともよい機会となった。 |
| 定例 | 誕生会 | その月生まれの園児、保育園体験の子どもたちの誕生をみんなで祝うことで大きくなった喜びを共感しあった。 |
| | 伝統行事 | こどもの日、七夕、節分、ひな祭りなど季節の伝統行事において、それぞれの意味、内容について話を聞いたり、製作や歌を歌ったりして楽しんだ。 |

(4) 研修体系

「(5) 研修の状況」を体系別に表すと次のとおりである。

| 体系 | | 内容 (下記の数字は、「(5) 研修の状況」の「No」を表している。) | 回数 |
|--------|----------|---|-----|
| 一般研修 | 新任職員研修 | 5,7,16,18,39,46,48 | 7 |
| | 現任職員研修 | 1,2,3,4,5,6,7,8,9,10,11,16,17,19,20,21,22,24,25,28,30,32,33,34,35,36,37,38,39,42,43,44,45,49,50,51,52,56,57 | 39 |
| | 副主任研修 | 13,15,23,27,29,43,47 | 7 |
| | 主任研修 | 12,14,31,34,41,43,53,54,55 | 9 |
| | 施設長研修 | 3,9,15,26,40,43,58 | 7 |
| 専門研修 | 保育士研修 | 3,5,6,7,8,9,11,13,15,16,17,18,20,22,23,24,26,27,28,29,31,32,33,36,37,38,39,42,43,44,45,49,50,51,52,56,57 | 44 |
| | 看護師研修 | 2,4,10,25,34,35,38,43 | 8 |
| | 栄養士研修 | 12,14,34,43,54 | 5 |
| | 調理担当職員研修 | 30,43,50,52 | 4 |
| | 事務職研修 | 1,3,9,19,21 | 5 |
| 職場研修 | | 年間6回の園内研修(実践研修)及び全体研修 | 6 |
| 研修参加合計 | | 研修参加人数 合計88人、延べ参加人数93人 | 141 |

(5) 研修の状況

研修への参加状況は、次のとおりである。

なお、この他に職員全員参加の園内研修として「心を育てる絵本」をテーマに外部講師を招いて講習会を実施し、「エピペン・AED講習会」を各自1回ずつ実施した。

また、職員全員によるレポートをもとに事例検討会を3回実施し、「私のこだわり」「主体的な遊びで育つ子ども」をテーマにグループ討議やDVD教材を使った研修会を各1回実施した。

(単位:人)

| No. | 月 日 | 内 容 | 主 催 | 人数 | 延べ |
|-----|----------|--|--------------|----|----|
| 1 | 4月12日 | 福祉経営セミナー | (株)MAN90 | 1 | 1 |
| 2 | 4月27日 | エピペン投与シュミレーション研修 | 調布市教育委員会 学務課 | 1 | 1 |
| 3 | 5月29日 | 東京都の保育行政及び指導 検査研修会 | 東京都民間保育園協会 | 2 | 2 |
| 4 | 5月30日 | プール衛生管理講習会 | 東京都多摩府中保健所 | 1 | 1 |
| 5 | 6月2日 | 手遊びうた・ふれあい遊び | 調布市保育園協会 | 2 | 2 |
| 6 | 6月6~7日 | 東京都保育研究大会 | 東京都社会福祉協議会 | 2 | 4 |
| 7 | 6月19日 | LD・ADHD等の心理的 疑似体験 | 調布市保育園協会 | 3 | 3 |
| 8 | 6月20日 | 噛む力を伸ばす援助の方法 | 東京都社会福祉協議会 | 1 | 1 |
| 9 | 6月27日 | 処遇改善についての説明会 | 東京都民間保育園協会 | 2 | 2 |
| 10 | 6月29~30日 | 保健・衛生専門研修会 | 全国社会福祉協議会 | 1 | 2 |
| 11 | 7月11日 | 保育所幼稚園歯科保健指導 者研修会 | 東京都多摩府中保健所 | 1 | 1 |
| 12 | 7月11日 | 保育園給食における食物アレ ルギー対応~献立の工夫~ | 東京都多摩府中保健所 | 1 | 1 |
| 13 | 7月11~12日 | 「子どもと保護者の育ち絵 お支えるガイドブック」活 用研修会 | 全国社会福祉協議会 | 1 | 2 |
| 14 | 7月18日 | 栄養管理講習会 | 東京都多摩府中保健所 | 1 | 1 |
| 15 | 7月21日 | 新時代に相応しい保育 | 調布市保育園協会 | 2 | 2 |
| 16 | 7月25日 | 心も体もまるごと育てる「あそ び」~なんだかおもしろそうな 世界を広げよう~ | 東京都社会福祉協議会 | 2 | 2 |
| 17 | 8月4日 | 乳幼児期の食について | 東京都多摩府中保健所 | 1 | 1 |
| 18 | 8月7~8日 | 発達協会実践セミナー | 発達協会 | 1 | 2 |
| 19 | 8月10日 | ソウエルクラブe-ラーニ ング | 福利厚生センター | 1 | 1 |
| 20 | 8月10日 | 特別な配慮を必要とするお 子さんの支援 | 調布市子ども発達センター | 1 | 1 |
| 21 | 9月7日 | 福祉経営セミナー | (株)MAN90 | 1 | 1 |
| 22 | 9月7日 | 乳児保育研修会 | 東京都民間保育園協会 | 1 | 1 |

| No. | 月 日 | 内 容 | 主 催 | 人数 | 延べ |
|-----|--------|-----------------------------------|-----------------|----|----|
| 23 | 9月13日 | 保育園での危機管理 | 調布市保育園協会 | 1 | 1 |
| 24 | 9月20日 | 多様な子どもたちの発達支援・発達支援児への対応の仕方 | 調布市保育園協会 | 2 | 2 |
| 25 | 9月25日 | 感染症の基本のき | 東京都多摩府中保健所 | 1 | 1 |
| 26 | 10月6日 | 保育所保育指針の改定について | 東京都社会福祉協議会 | 1 | 1 |
| 27 | 10月12日 | 乳幼児の食べる機能と行動の発達～食べる機能はどう育つか～ | 東京保育センター | 1 | 1 |
| 28 | 10月17日 | 保育所保育指針の改定で更に見直された乳児保育の大切さ | 東京都社会福祉協議会 | 3 | 3 |
| 29 | 10月20日 | 保育所保育指針の改定に関する研修会 | 東京都社会福祉協議会 | 1 | 1 |
| 30 | 10月24日 | 改定保育所保育指針で保育はどうか？ | 東京保育センター | 1 | 1 |
| 31 | 10月29日 | 食物アレルギー児への保育所での対応について | 東京都社会福祉協議会 | 1 | 1 |
| 32 | 10月31日 | 普通救命講習 | 調布市 保育課 | 2 | 2 |
| 33 | 11月6日 | 調布市子ども発達支援センター療育見学会 | 調布市子ども発達センター | 1 | 1 |
| 34 | 11月9日 | アレルギー対応マニュアル説明会 | 調布市 保育課 | 2 | 2 |
| 35 | 11月10日 | 子どものアレルギー疾患に関する相談実務研修 | 東京都福祉保健財団 | 1 | 1 |
| 36 | 11月21日 | 保育所保育指針の改定～今、求められている子育て支援とは～ | 東京都社会福祉協議会 | 2 | 2 |
| 37 | 11月29日 | 交通安全研修会 | 園児交通安全防犯連絡会 | 1 | 1 |
| 38 | 11月30日 | 母子保健従事者研修会 | 調布市役所 健康推進課 | 2 | 2 |
| 39 | 11月30日 | こどものからだのおかしさを考える～こどものケガはなぜおこるのか？～ | 調布市 保育課 | 3 | 3 |
| 40 | 12月1日 | ぜん息・食物アレルギー緊急時対応研修 | 東京都福祉保健財団 | 1 | 1 |
| 41 | 12月1日 | 笑う保育 | 調布市保育園協会 | 2 | 2 |
| 42 | 12月1日 | 困った親と見ない、困った子と言わない～保育園で何ができるか～ | 東京都社会福祉協議会 | 1 | 1 |
| 43 | 12月2日 | 新しい食物アレルギーの考え方と対応 | 東京慈恵会医科大学付属第三病院 | 9 | 9 |
| 44 | 12月5日 | 園児の摂食嚥下 | 調布市保育園協会 | 2 | 2 |
| 45 | 12月8日 | 保幼小連携に関する研修会 | 東京都民間保育園協会 | 2 | 2 |

| No. | 月 日 | 内 容 | 主 催 | 人数 | 延べ |
|--------------------------|--------|--|--------------|----|----|
| 46 | 12月11日 | 保育園の食を楽しむ～子どもにとって大切なこと～ | 東京都社会福祉協議会 | 1 | 1 |
| 47 | 12月12日 | 新保育所保育指針研修会 | 東京都民間保育園協会 | 1 | 1 |
| 48 | 1月15日 | 子どもの行動観察のポイントとアセスメント | 調布市子ども発達センター | 1 | 1 |
| 49 | 1月24日 | 絵本の力・読み聞かせの魅力 | 調布市保育園協会 | 2 | 2 |
| 50 | 1月30日 | 子どもの食を一緒に育てていくための給食室と保育室の連携～食育記録の作成を通して～ | 東社協保育士会 | 2 | 2 |
| 51 | 2月1日 | 多様な子ども達の発達支援～発達支援の必要な子ども達とたちと、共に育む仲間づくり～ | 東京都社会福祉協議会 | 1 | 1 |
| 52 | 2月5日 | 災害時の保育施設・給食職員の役割～今、必要な準備とは～ | 東京都社会福祉協議会 | 1 | 1 |
| 53 | 2月7日 | 防犯講習会 | 園児交通安全防犯連絡会 | 1 | 1 |
| 54 | 2月7日 | 特定給食施設栄養管理講習会 | 東京都多摩府中保健所 | 1 | 1 |
| 55 | 2月13日 | 管理職研修会 | 東京都民間保育園協会 | 1 | 1 |
| 56 | 2月14日 | 乳幼児期の食を通じた子育て支援 | 保育所食育サポートネット | 1 | 1 |
| 57 | 2月22日 | 「心に効く4つの栄養素のお話」研修会 | 東京都社会福祉協議会 | 1 | 1 |
| 58 | 2月26日 | 衛生推進者養成講習会 | 東京労働基準協会連合会 | 1 | 1 |
| 研修参加人数 合計 88人、延べ参加人数 93人 | | | | | |

(6) 食を大切に作る保育の推進

本年度も食材を育て(野菜の栽培)、食材に触れ(皮むき、さやむき、米とぎなど)、その食材を利用した給食作りを実施した。

芋掘り遠足で掘ってきた芋を利用して芋煮会を行い、2歳児から年長児まで豚汁作りに参加した。前年度で終了した日本の郷土料理の紹介に替わり、保育園の給食で出ている世界の料理を、毎月給食だよりで紹介した。

アレルギーの誤食にも注意を払い、安心して食べられる食事の提供を心がけた。年度の途中より調布市のアレルギーマニュアルの変更をうけて、みんなが食べられる献立に取り組みはじめた。

ア 行事食と郷土食

| | 行事食 | 世界の料理紹介 | |
|----|-----|---------|---------|
| 4月 | | 中国 | マーボー豆腐 |
| 5月 | | アメリカ | ポークビーンズ |

| | | | |
|--|------------------|------|--------------|
| 子どもの日 | 鯉のぼりクッキー | | |
| 6月 | | インド | タンドリーチキン |
| 7月 七夕 | 七夕そうめん | 日本 | 冷し中華 |
| 8月 | | イタリア | ミートスパゲティ |
| 9月 防災訓練 おじいちゃん おばあちゃん と一緒に遊ぼう会 | 非常食 会食献立 | フランス | 魚のムニエル |
| 10月 ハロウィン | パンプキンケーキ | フランス | コロッケ |
| 11月芋煮会 | 豚汁 | 中国 | しゅうまい |
| 12月 もちつき クリスマス | きなこもち クリスマス献立 | ドイツ | ハンバーグとハンバーガー |
| 1月 鏡開き | 汁粉 | イタリア | ピザトースト |
| 2月 節分 | 鬼っこおにぎり | フランス | グラタン |
| 3月 ひな祭り お彼岸 | ひな寿司 おはぎ | フランス | ポタージュ |

イ 食育

| | | | |
|----|-----------------------------|-----|--|
| 4月 | | 10月 | 米とぎ |
| 5月 | そら豆むき グリーンピースむき | 11月 | 芋煮会 豚汁作り 2歳：野菜ちぎり 3歳：野菜ちぎり 4歳：ピーラー 5歳：包丁 |
| 6月 | ピーラーの練習 とうもろこし皮むき 米とぎ | | |
| 7月 | 米とぎ | | |

| | | | |
|----|--|-----|-----|
| | 野菜栽培 皮むき・包丁 玉葱皮むき 枝豆むき お泊り保育での夕飯作り（カレーライス） | 12月 | 米とぎ |
| 8月 | 米とぎ 野菜栽培 | 1月 | 米とぎ |
| 9月 | 米とぎ 野菜栽培 | 2月 | 米とぎ |
| | | 3月 | 米とぎ |

ウ 給食でのカロリーの量

子どもが摂るカロリーについては、昨年度は1年を前半と後半で分けて考えてエネルギー等を変えていたが、本年度は年間通しての設定とした。

(単位：カロリー)

| | エネルギー | 蛋白質 | 脂質 |
|----|-------|------|------|
| 乳児 | 510 | 18.5 | 14.0 |
| 幼児 | 605 | 20.0 | 19.0 |

エ 食物アレルギー児及び摂食障がい児の状況

卵・小麦に対するアレルギー1人、卵のみ2人、卵・ゴマ1人、卵・乳1人、計5人のアレルギー児に対しての食事の除去、代替食を実施した。

摂食障がいのある園児に対しては、子どもの食べられる状態に合わせて食事を提供した。

(7) 防犯・防災対策

ア 避難訓練

訓練は4月から始め、月を増す毎に設定を細かくし、様々な状況に対応できるようにした。毎月の訓練時には、避難通路状況などを確認し、担当が反省点を文章にして記述し、それを基にして次の年度に改め、訓練に取り入れるようにした。

また、防災計画及び自衛消防組織編成を見直し、地震・火災対策に応じた役割分担をはっきりさせるとともに、震災時の対応についてマニュアルを作り、職員同士の伝達、協力体制を強化した。

他にも、開設時間内と時間外に分け、交通機関が止まった時を想定して職

員を配置し、行動、対応を徹底させた。

(単位：人)

| 月 日 | 内 容 | 園児 | 職員 |
|--------|----------------|----|----|
| 4月14日 | 火災訓練、消火訓練 | 74 | 11 |
| 5月22日 | 火災訓練、消火訓練 | 80 | 20 |
| 6月13日 | 火災訓練、消火訓練 | 90 | 21 |
| 7月11日 | 地震訓練、消火訓練 | 90 | 18 |
| 8月21日 | 地震訓練、消火訓練 | 74 | 23 |
| 9月1日 | 地震訓練、引取訓練 | 86 | 32 |
| 10月13日 | 火災訓練、消火訓練 | 90 | 15 |
| 11月25日 | 地震訓練(土曜日)、消火訓練 | 7 | 5 |
| 12月6日 | 火災訓練、消火訓練 | 91 | 28 |
| 1月11日 | 火災訓練、消火訓練 | 93 | 24 |
| 2月16日 | 火災・地震訓練、消火訓練 | 85 | 24 |
| 3月7日 | 火災訓練、消火訓練 | 93 | 28 |

イ 救命訓練 (AED)

傷病者を発見してから救急隊に引き渡すまでの訓練を行った。

意識確認→呼吸確認→心肺蘇生→AED、また、119番通報、園児への対応など一つの流れを作り、誰もが処置できる訓練をした。エピペンの対象児は現在はいないが、急遽必要になった際に適切に対応できるよう、年度当初からエピペンの使用方法等も訓練の中に入れた。

(単位：人)

| 月 日 | 参加職員数 | 月 日 | 参加職員数 |
|-------|-------|--------|-------|
| 6月22日 | 6 | 10月19日 | 5 |
| 7月20日 | 5 | 1月18日 | 5 |
| 9月14日 | 6 | 3月16日 | 4 |

ウ 侵入者対策、防犯訓練

本年度はまず、保育園独自の防犯マニュアル作りから着手し、完成したマニュアルの内容を職員間で確認したうえで、事前に具体的な訓練内容は設定せず、不法侵入者役(男性職員)と日程だけ告知し、実際に職員がどの様に動くことができるのかを検証した。この訓練により、マニュアルの中にある役割に沿った動きの難しさや、課題点も見えてきたので、今後の防犯に関する職員の意識がより高まった。